



平成 26 年 8 月 1 日

各位

会社名 株式会社アルデプロ
代表者名 代表取締役社長 久保玲士
(コード番号 8925 東証マザーズ)
問合せ先 代表取締役社長 久保玲士
(TEL 03-5367-2001)

期首における当社の状況に関するお知らせ

当社は、株主様をはじめ投資者の皆様へ当社の状況を適時適切に発表することを心がけております。このたび、当社の第 28 期（平成 27 年 7 月期）の期首に当たり、当社の期首時点の状況を発表することにより、当社へのご理解をより深めていただけるものと考えております。このようなことから、当社の期首時点における状況を下記のとおりお知らせします。なお、来期以降も期首時点における当社の状況を発表していく方針です。

記

1. 期首における当社の状況について

平成 27 年 7 月期期首（平成 26 年 7 月期末）の当社の予想貸借対照表（要約版、会計監査人による会計監査前）の状況は下記の表のとおりであり、このうち現預金や販売用不動産などは平成 26 年 7 月期期首（平成 25 年 7 月期末）に比べて大幅に増加しております。

特に販売用不動産につきましては、現段階において仕入契約締結済みおよび 8 月以降仕入予定の物件を合わせて、当期（平成 27 年 7 月期）の予想売上高（平成 26 年 4 月 30 日付「中期経営計画策定のお知らせ」で公表した売上高 156 億円）の約 6 割に相当する仕入案件を抱えており、これら案件については仕入契約に向けて鋭意交渉中であります。この豊富な仕入案件は平成 26 年 7 月期期首（平成 25 年 7 月期末）時点の販売用不動産の残高 16 百万円と比較して大きく増加しており、今期の販売活動を順調に進めることが可能な状況にあると判断しております。

また、前期（平成 26 年 7 月期）の在庫回転期間は約 2 ヶ月となっております。これは、当社のビジネスモデルが仕入交渉段階から売却出口を固めたうえでバリューアップし販売に至るといったものであることから、このような短期の在庫回転期間を可能としております。当期においても、このビジネスモデルを推進し、販売用不動産の売却に努めてまいります。

さらに、金融機関からの借入につきましては、平成 26 年 7 月 31 日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で発表しておりますとおり、前期（平成 26 年 7 月期）の業績予想を達成する見込みであることから、金融機関の当社に対する融資姿勢も好転するものと見込んでおります。

個別予想貸借対照表（要約版）

（単位：百万円）

科目	平成 25 年 7 月 末	平成 26 年 7 月 末	増減
資産の部			
現預金	777	2,661	1,884
棚卸資産（不動産）	16	<u>1,168</u>	1,152
その他流動資産	1	105	104
固定資産	7	15	8
資産合計	803	3,950	3,147
負債の部			
未払金	448	37	△411
短期借入金	0	350	350
その他流動負債	53	114	61
長期借入金	38	515	477
その他固定負債	4	3	△1
負債合計	545	1,021	476
純資産の部			
資本金	700	550	△150
資本剰余金	600	1,050	450
繰越利益剰余金	△1,043	1,329	2,372
純資産合計	257	2,929	2,672
負債・純資産合計	803	3,950	3,147
自己資本比率	32%	<u>74%</u>	—

（注1）百万円未満切り捨てで表示しております。

（注2）現預金は預け金を含んでおります。

（注3）上記の数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の数値は今後様々な要因によって上記の数値と異なる可能性があります。

以上